

令和4年度 第2回境港市男女共同参画推進審議会 会議録

■日時： 令和5年2月21日(火) 午前10時～11時半

■場所： 境港市役所 第1会議室

■日程

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 事

(1) 男女共同参画に関する市民意識調査の結果について

男女共同参画に関する市民意識調査 調査結果報告書 (概要版)

資料1

男女共同参画に関する市民意識調査 調査結果報告書

資料2

(2) 第4次境港市男女共同参画推進計画改定概要(案)

資料3

(3) 令和5年度 境港市男女共同参画推進審議会スケジュール(案)

資料4

4 その他

5 閉 会

■ 出席者(敬称略)

佐篠 邦雄、足立 光枝、山根 伸彦、河岡 亜樹菜、小谷 輝泰、
原田 篤、保坂 史子、宮本 剛志、権田 正直、金津 唯可(10名)

■ 欠席者、傍聴者

なし

■ 会議録(要旨)

1 開会(小川地域振興課長)

2 委員委嘱(鳥取県男女共同参画センター(よりん彩) 権田委員の再任)

3 会長あいさつ

前回審議いただきました市民の意識調査とかが主になろうかと思えます。忌憚のない意見をちょうだいいただければと思えますので、よろしく願いいたします。

4 議事

(1) 男女共同参画に関する市民意識調査の結果について

佐篠会長

それでは議事に入りますけども、意識調査の結果ということが出ております。資料1、2がありますけども、2の方が詳細なもので1が概要ということですので、事務局の方からよろしく願いします。

事務局(人権政策室長)

資料1男女共同参画に関する市民意識調査 調査結果報告書(概要版) 資料に沿って説明

佐篠会長

この内容について何かご質問等ありましたら、お願いします。

委員

意見ですけど。

アンケートで見えてきたことが、男性優位な習慣があるってところが一番だと思っていて、政治の場というの、まだ進んでいない。子育てしやすい職場環境づくりっていうのが、女性が多いっていうのも女性がしないといけないっていう立場があるから、それを望んでいるというふうに見られるわけです。

そう考えると、今後の取り組みについてですけど、介護が必要な高齢者のサービスとか、職場環境とかあるんですけど、それよりも男性優位じゃなくて女性の登用といったところをもうちょっと進めていくべきじゃないかなと思います。

境港市に質問、市役所の女性の管理的立場の人っていうのは何%ぐらいでしょうか。

事務局(地域振興課長)

部長職は以前はいたものの、今はゼロになっておりますし、県内の自治体の中でも、下位の方になっているというのが率直なところです。県知事とか言われる25%の女性が、4人に1人ぐらいは女性っていうのをまず目指すというか、そういったことを進めていかないとけないと思います。

委員

感想なんですけども。

今回の調査で回答されている方が比較的60歳以上の方で、結果に現れる数字も5年前と変化が大きくなってないのかなっていうことを感じました。

若い人30代、50代以下の人、さらに若い人たちがもっとたくさん回答して下さってれば若干割合が変わってくるのでは。

あと、一番最初の2ページのところの「男は仕事、女は家庭」っていう考え方、意識としては、減ってきているわけですね。そう思わないっていう人が、5年前の二倍以上になっているので、意識としては皆さん変わりつつあるんだけど、結局、この調査結果に変化があまりないっていうのは、社会の構造だったり、思いはあっても、実際はなかなか変わってくれないのかなっていうふうに思いました。

事務局(地域振興課長)

先程の市町村の管理職の状況、境港市の場合は、昨年4月の時点で8.1%という状況で、県内で一番下から二つ目というような状態です。一番高かったのが、北栄町の47.8%、あとは若桜町が43.8%というような形で、県内だと五つの自治体は4割以上というふうなところが出てきていますので、

もうちょっと境港市も頑張らしていただかないと。というのが率直な意見です。

委員

管理職の話ですけど、県は全国で一番管理職の登用が高いです。課長級以上で 20%を超えて何年も続けて、全国一位なんですけど、これはトップダウンが一番大きいんじゃないかなと思いますし、実際に活躍できる場が与えられると皆さんしっかりやられるというのが実態かなと思います。

市町村の順位、率を言われましたけど、市町村の場合は、特に保育所の施設長がたくさんいらっしゃる場所は、率が上がったり、割と全体の人数が少ないので、統計的にはとり方によって違うのかなと思います。

委員

感想です。

今回調査で、前回と比べて回答率が上がっているの、市民の意識もちょっと向上かもしれないですし、ウェブ回答できるようにしたっていうところも、取り組みやすさは、成功で評価できると思います。

回答された方が 60 歳以上の方が半数を占めるってところで、その方々の考えみたいなものがアンケートの中で色濃く出ていると感じました。特に、配偶者や恋人から受ける暴力等、僕のイメージなんですけど、そういった方々の回答、ちょっとならいいとか、状況によってしてもいいとか、こっちに現れてると思いますので、男女別じゃなくって、年齢別での考察みたいなところにも広げていければ、中身が絞れていくというふうに感じました。

佐篠会長

私の方から。一言、言わせてもらいます。

2 ページ上の数字なんですけども、非常に思ったことは、「男は仕事、女は家庭」ということで、そう思わない人が大体 7 割 8 割ぐらいおられますね。それに対してその下のイの欄、「男女の賃金、雇用の差があっても仕方がない」と思う人が 4 割もおられるということ、そのギャップがどうかかなと思ひました。

年代によってその数字は変わってくると思いますけども、その辺が思ったところでございます。

事務局(人権政策室長)

そちらについてですけども、男性は、40 代のみが突出して多く、そう思うどちらかといえばそう思うが、63.2%ありました。女性については、60 代が突出して多くて、そう思うどちらかといえばそう思うが 53.2%ありまして、他の年代はそんなに変わらないんですけど、男性は 40 代が多かったっていうところが出ています。

事務局(地域振興課長)

資料の詳細版の 7 ページを見ていただくと、「男は仕事、女は家庭」というのを、年代別の分析も、男性、女性分けて書いてあるので、詳しく、ここに出ているところです。

佐篠会長

先ほど委員が言われましたように若い人の回答がもうちょっと半分、すぐになると思いませんけど今回からWEB回答ということでやってもらっておりますけど、他に何か意見ございませんでしょうか。市民の皆さんの意識というものはなかなか難しいかなという感じておりますけども。

委員

詳細版の方の資料2ですかね、資料の47ページ以降に自由記述の回答がのっていると思いますが、なかなかこの質問項目の回答だけでは見えてこないし、市民の生の声っていうのはこういったところに出てくるなと個人的には考えていますので、事務局の方で、今後考えていくようなのがあれば、ご紹介いただくとなるほどなと思って。

事務局(地域振興課長)

前提になっている回答が、男性はこういう仕事またこういう役割、女性はこういう仕事こういう役割と

いう役割意識が前提にあって、その上で、掲げている回答が多いかなというふうに考えています。

そういう意味では役割意識(解消)ということ、市民全体が認識することが、この回答の変化にも出てくると思いますので、そういったところを行政が取り組んでいきたいなと感じたところです。

佐篠会長

私のもう一つ意見が、学校でどういう教育をされているかということを知りたいと思います。

委員

学校では基本的に男の子だから、女の子だから、そういった意識は持たないような感じです。

もう何年も前からですけども、例えば児童名簿についても、男女混合名簿だったりとか、男の子だから重いものを運ぶとか、女の子だからこのクラブに入るんだってという意識っていうものは、子供たちは持っていないような。ただ我々指導者が、意識改革を図っていくというのはすごく大切なことですので、今であれば、性的マイノリティの人権について、今年度職員の研修をしたり、具体的に人権教育の中できちり位置付けて、低学年ではこういう内容、高学年ではこういう内容っていう形で取り組みを進めているところです。男と女ではなくて、自分を大事にしていくということで、職業を考える場合でも、男の子らしいとか女の子らしいとか、そういった部分っていうのは取り扱わないようしています。

佐篠会長

それでは資料1につきまして、他にご意見がないようでしたら次に進みたいと思います。

(2) 第4次境港市男女共同参画推進計画改定概要(案)

佐篠会長

議案2の第4次男女共同参画推進計画改正概要、事務局の方からよろしくお願いします。

事務局(人権政策室長)

資料3第4次境港市男女共同参画推進計画改定概要(案) 資料に沿って説明

佐篠会長

今事務局の方から、提案がございましたけども、この内容につきまして、何かご質問等がありましたら。今ありましたように基本、目標は変わらないということで中身が若干変わるということでございます。

委員

先ほど、計画の名称の話が出ました。鳥取県は性に関わりなくってなったのが、審議会の中で、性の多様性を考えていかないといけない時代に、男女を使うことによって、自分は該当しないと思われる方がいるのではないかという意見が出て、こういう名前にされたというところがあったのですけども、一方で、今まで、男女共同参画でジェンダー不平等を平等にしようという趣旨があるので、男女の差を平等にしていこうというところが根底にある計画でもあるわけですから、そこが薄まるんじゃないかっていうふうに、従来からそういう活動してこられた方からの意見があったりして、いろいろ考え方があるのと、他の市町村の審議会でこの名称の話が出てきますが、性別に関わりなくっていう形でやっているのは、大山町は知っていましたがあと確か岩美町も虹色プランとか言って、サブテーマでちょっと名前を変えるというやり方。サブテーマだったか忘れちゃったけど虹色という名前がついています。

それと県の条例、計画も男女という言葉になるべく一人一人がという中身に置き換えるような、ただ法律とかで使っている言葉は変えないけれど、計画の文面も男女がというのを一人一人がみたいなことで言葉の使い方も多少見直すというようにしていました。

名称については、いろいろ検討が必要なのかなと思います。

案2の名称、人と人って書いてしまうと、パッと見て何の計画からよくわからない。高齢者のいきいきプランみたいな感じで、生き生きって変わってしまうそんなイメージがあったのでいずれも男女、計画っていうところが上なのか下なのかつけば、まあそういう名前でもいいのかという気がしましたけど。そ

れ単独だとなんの計画かわかりづらいなっていうのがありました。

佐篠会長

今、委員からありましたのは、改定方針の(5)、5番の件ですね、改定名称の変更の件についてご意見がございましたけども。この件につきまして何か皆さんほかになにか。

事務局(地域振興課長)

補足なんですけど、正式名称、第三次男女共同参画推進計画というものの自体は変えないのですが、広く市民の方に知らせていく上で、プラン名について先ほどの話で変えるよう検討。あと境港市につきましてはご承知のとおり、昨年7月よりパートナーシップ宣誓制度ということで、色々な性の考え方もあるということで、パートナーシップ宣誓制度を始めさせていただくことも加えて、男と女と固定したものではなくて、もう少し役割意識のところを考慮していただくようなフレーズにしていければなということで、ひとまず案としてご提案させていただいてはおりますけども、皆様のご意見も踏まえながら、次回、第1回の時に提示する素案までに、検討し、お諮りしたいということでご提示したところです。

佐篠会長

委員からありましたように、この名称を変えると何かよくわからんようになってしまう面もあろうかと思えますけど、人と人というとか、すべての人とかでいろんな言い方はあると思えますけど、今までの男女共同参画という性別の違った人と言うのでずっときておりましたものが、その整合性がどうかというようなご意見もあろうかと思えますけども。その辺のことはどうですかね。

委員

私もこの案2の人と人のっていうのはちょっと何か、違うというか、やっぱりピンとこない感じはあるのかなって思います。

佐篠会長

今、委員が言われましたように、ピンとこんのだと思いますよ。今まではね、男と女を分けたのが今度一緒になって、それが難しいところもありますけども。

委員

いきいきプランっていう名前は残したいわけですから、何かそういうことじゃないですか。

事務局(地域振興課長)

絶対ということではないんですが、配慮したいなど。正式名称が男女共同参画推進計画ってあってですね、それをわかりやすくしたら結果としてもものすごい長くなってしまうはなかなか、できるだけシンプルでというふう考えたところです。

結果として、長くなってもいいというご意見が多ければ、文章みたいな形ですけども、長くなると意味がっていうことで短くしようとしたら、人と人の方では、わかりにくいっていうわけで、もう少し皆様のご意見があれば、考えたいと思います。

委員

実は今年の市民意識調査結果を見てたんですけども、前回5年前の調査結果が概要版に載っていて、多分今回はないと思うんですけども。そこで、男女共同参画社会って言葉知ってますか、境港市の推進条例知ってますか、ひととひとのいきいきプラン知っていますかとかですね、5年前、ひととひとのいきいきの概要を知っているが3.7%、知らないが69.8%、ほとんど認知率がないっていうところも思いますので、もちろんこうした堅苦しいというか法律用語のような境港市男女共同参画推進計画っていうのはもちろん行政ですんで、立てなきゃいけないとか、いろんな世代になじみのあるような、名称というかサブタイトルというか、愛称がつけられればもっといいかなというふうに感じました。

佐篠会長

ほかにこの件につきまして、ご意見はございませんでしょうか。

委員

親しみやすい言葉にしようとする、今まで使っていたようなひとひとのいきいきプランが親しみやすさはあるけど、それを聞いても、下には正式名称は書いてありますけど、連想できるかっていう発想はなかったと思うんですけど。

確かに長くなるけど、鳥取県みたいな方がわかるみたいな、かえて人にはいいのかな。PRする方は親しみやすい方がいいじゃないかなっていう思いもあります。でも見たときに、なるほどわかるっていう方が本当はいいのかなと思います。

佐篠会長

では、先ほどの意見は、単純に人と人ではなくて、それが男女がわかる男女とかそれ以外の性、すべての性に関する事なので鳥取県みたいに、性に関わりがなくとかそういう文面ですね。

委員

読んで男女共同参画なんだなっていうことがわかるように、ただ言葉を優しくしただけみたいな。

佐篠会長

ありがとうございました。

委員

愛称が、親しみやすいっていう意味合いでは、わかりやすい名称にしたほうがいいじゃないかとか。やっぱり目で見ても、わかる名称がいいじゃないかっていう、いろんな意見があると思うんですけど。わかりやすい愛称というのはいいですけど、サブタイトルみたいなので、目で見てもわかりやすいみたいな形で、そういうところでもいいのかなと思いました。

佐篠会長

人と人ともいいけどサブタイトルでわかるようにするとか、そういうことだと思いますけども。

事務局（地域振興課長）

そうすると例えばプラン名はちょっとシンプルにしながら、この下に例えば今の性に掲げる誰もが共同参画できるまち境港みたいな。

委員

名前がわからないと、下にわかるようにしたっていけないんじゃないでしょうか。

委員

インパクトがあってもいいかもしれないですね。人と人のいきいきプランと聞いたら、もうちょっと愛称がなんか愛着がわくような。

委員

どんなタイトルつけても、人に知ってもらわないと、最終的にすばらしいタイトルでも意味がない。

私も本当に知らなかったの、多分大多数の人がそうだと思うので、やっぱりどんなタイトルになっても、やっぱり市報でね、ページ作ってはあるんですけど、市報も毎回毎回全部読む人何人いらっしゃるでしょう。市民の皆さんに、男女共同参画社会のことを知っていただくっていうこと感じました。

事務局（地域振興課長）

来年度にこの計画を作らせていただいでですね、一番最後でまた前回の計画の分厚い本編と概要版を作る。さらに児童生徒さん向けには、これをさらに優しくしたようなチラシみたいな形でそんなにペ

ージ数は多くないものを作って、各学校とかに配らせていただいて、児童生徒さんから保護者さんに伝わるということで、さっきのアンケートでも若い方への周知っていうところもありますので、そういうところは取り組んでいくようなことです。できるだけ策定した計画を、多くの方に伝えるように取り組ませていただきたいというのは予定しております。

今回アンケート項目が増えると回収率がどうしても減るという傾向だったので、こういうことを聞いたことがありますかみたいなのは削って、調べてはいないのですけども、ただ直感で確かに低いかなというのは、感触としてありましたので、次回は、周知の方は頑張っていきたいと考えております。以上です。

佐篠会長

はい。ありがとうございます。他に。

委員

目標も、前回の目標、名前と同じという形ですかね。何か条例か何か引っ張ってるっていうことですかね。

1点、目標の1のですね、心温まる意識づくりっていうのはすごく曖昧で、なんかわかりづらいついていうか、例えばもっと一人一人を大切にするとか。心温まるって、ちょっとぼやとしてて、目標にしては抽象的すぎるかなと思いました。

そういうのがすぐに変えられないんだったら、難しいですけど、検討していただきたいです。

佐篠会長

委員からありましたように、検討お願いしたいと思います。他にはありませんでしょうか。

それではこの改定案の概要案につきまして、承認していただきたいと思いますけども、よろしいでしょうか。承認される方は、拍手の方をよろしくお願いします。

ありがとうございます。

それではこの会議の概要案ということで進めてもらいたいと思います。よろしくお願いします。

(3) 令和5年度 境港市男女共同参画推進審議会スケジュール(案)

佐篠会長

次に、(3)の令和5年度の撮影境港男女共同参画推進審議会スケジュールの案ということで、事務局の方からお願いしたいと思います。

事務局(人権政策室長)

資料4 令和5年度の撮影境港男女共同参画推進審議会スケジュール(案) 説明

佐篠会長

ありがとうございます。

今の審議会のスケジュール案ということで、これに関して何か。ご意見がございますでしょうか。

ないようですので、このスケジュールで、ご了承願いたいと思います。

それではいろんな意見を皆さん方からちょうだいいたしまして、この意見を参考にしながら改定案の作成をしていただきたいと思ひますし、市民からのアンケート調査結果も踏まえながら、新しい案を作成していただきたいと思ひます。

ご協力ありがとうございました。

5. 閉会(地域振興課長)